

令和7年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

土岐市青少年育成市民会議

【令和7年度土岐市青少年育成市民会議のテーマ】

コロナ禍明けから継続している事業の簡素化・効率化などの見直しにアプローチしつつ、「青少年の、青少年による、青少年のための市民会議」を目指し、多くの青少年が参画できる事業やイベントを、市内青少年町民会議と連携・協調し展開していく。

【令和7年度土岐市青少年の主張大会の紹介】

令和7年6月15日（日） 13：30 開始 16 時終了
土岐市文化プラザ サンホール

1. 青少年と多世代の参画

当市の主張大会の特徴は、多くの世代の青少年（小学生から高校生）が主張発表者として出場している点にある。発表者ではないが、高齢者学習支援事業『はなの木大学』に大会メイン看板の作成を依頼。同事業の全体学習（研修会）にも指定をし、より幅広い世代が参画する大会へと発展した。

今年度は、大会内アトラクションを、地域の公民館で活動する社会教育関係団体フラダンスチーム「アイナ・オハナ」に依頼。未就学児から大学生、大人は育児世代が多く所属する団体ということもあり、さらに幅広い世代の参画を促すことに繋がった。

2. エンターテインメント性

大会内アトラクションには、令和5年度から市教育文化賞受賞者や地域の公民館で活動する社会教育関係団体に出演を依頼している。前項でも触れたが、今年度は社会教育関係団体フラダンスチーム「アイナ・オハナ」に出演を依頼した。未就学児が頑張っで見様見真似で踊る愛くるしい姿や、高校生や大学生による大人顔負けのパフォーマンスに会場は大きく魅了された。



3. 表彰記念品の充実

主張発表者の表彰記念品は、令和5年度に表彰楯からオリジナルデザイン的美濃焼製ストローとコップのセットに変更。今年度は3色展開し、出場者に大変好評であった。

4. 施策の効果と課題

今大会のアンケートの結果は概ね良好で、スムーズな進行やアトラクションの選定を評価する声が多かったが、依然として関係者以外の観覧者が確保できていないことが課題である。